

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.43

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業	担当部署	市民環境部 環境局 環境政策課
総合計画体系				根拠法令計画など	地球温暖化対策の推進に関する法律、第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画、鳴門市環境基本計画
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			事業期間
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			
(小項目)		エネルギー使用			
施策	7	地球温暖化・省エネ対策の推進			
基本事業	2	地球温暖化・省エネ対策の率先的実行			
開始	平成			13	年度
終期	未定				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無					
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求					

◎事業概要 (PLAN)

目的	本市の温室効果ガス排出量の削減		事業内容 (R1)	①「第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく温暖化対策継続 ②ゴーヤ苗の配布ならびに「緑のカーテンコンテスト」の実施				
実施方針	「鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく温暖化対策を実施する			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	電力使用量	21,953	21,400	21,400	21,400	21,400	千kWh
	2	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	19,631.8	20,610.7	20,610.7	20,610.7	20,610.7	t
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)		19,631.8	20,610.7	20,610.7	20,610.7	20,610.7	t

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催	①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催	①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催	①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催 ④「第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画」の策定 ⑤市有地等活用による自然エネルギーの利用継続 ⑥再生可能エネルギーの導入可能性について検討	①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催 ④市有地等活用による自然エネルギーの利用継続 ⑤再生可能エネルギーの導入可能性について検討

事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	91	0	91	223	223

事務事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催
--------	-----------	---

指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 電力使用量	21,462	20,898	21,400	21,400	21,400	千kWh
	2 温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	20,518.1	21,270.3	20,610.7	20,610.7	20,610.7	t
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	20,518.1	21,270.3	20,610.7	20,610.7	20,610.7	t
	目標達成率(実績/目標)		96.9				%

事業費推移(円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算			
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
			計	69,189	0	88,424
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	69,189	0	88,424	0	88,424

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)		成果指標に対する所見	クリーンセンターから排出される一酸化炭素濃度などの測定値を制限する機能が設定されていた問題について、廃ガス濃度を安定させるために、灯油使用量が増えたこと等により二酸化炭素換算排出量の増加につながった。		
	目標	20,610.7	t				
	実績	21,270.3	t				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地球温暖化対策推進にあたり、職員一人一人の行動の変容が必要なため、クールビズ等の啓発を継続していくとともに、施設や設備の更新時期を捉えて各所属に国や県の補助金情報を提供していく。また、市職員が率先して節電等環境に配慮した行動をすすめていくことにより、職員自身の意識啓発ならびに市民・事業所等団体の自主的な取り組みを促していく。 令和2年度においては、「第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画」最終年度となるため、上記課題も鑑み「第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画」を策定する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和2年度	「第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく取り組みを推進することで、地球温暖化対策に市民とともに取り組んでいく。 「第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画」(計画期間:R3年度～R7年度)の策定に向けた調査・検討を行い、同計画を策定する。 「再生可能エネルギー導入推進事業」合併により、市有地等活用による自然エネルギーの利用継続ならびに再生可能エネルギーの導入可能性について検討する。
	令和3年度	「第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく取り組みを推進することで、地球温暖化対策に市民とともに取り組んでいく。 市有地等活用による再生可能エネルギーの利用継続と導入可能性について検討するとともに、事業者から問い合わせがあれば対応する。